

令和6年度

第3回

## 市町村長等・議会議員特別セミナー

日々めまぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、様々な行政課題について学び、施策を提案・実施していくことが求められています。

今回のセミナーでは、「福祉」というテーマのもと、各分野でご活躍の先生方から講演をいただき、今後のわがまちの未来や地方行政に求められる役割について多角的に考えていただきます。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

## 開催要領

日 程

令和7年1月20日(月)～1月21日(火) (2日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市町村長・副市町村長及び部長級職員、市区町村議会議員

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

来所による受講 170人

※途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

オンラインによる受講 50人

※オンラインについては、ビデオ会議システムZoomを使用します。機材(1人1台)やインターネット接続のための環境が必要です。詳しくはZoom公式サイトをご参照ください。

「来所による受講」、「オンラインによる受講」ともに、募集人数を大幅に上回るお申込をいただいた場合は、**先着順**とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

来所受講: 7,300円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

オンライン受講: 2,000円

申込期限

令和6年11月22日(金)まで

※**先着順**のため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。

申込方法

- JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。
- 議員の方は、**議会事務局を通じて**、お申込みください。
- 来所による受講とオンラインによる受講を選択できますので、**どちらか一つのみ**お申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。  
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

令和7年

1月  
20日(月)

11:00~  
入寮受付・昼食

12:45~  
開講式・日程説明

13:00~14:30  
講義 **アート×福祉**

東京藝術大学 学長 日比野 克彦 氏

14:50~16:20  
講義 **安心して認知症になれる社会を目指して  
～一人ひとりのマイクロハピネスを みんなのウェルビーングに～**

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授/

認知症未来共創ハブ 代表 堀田 聡子 氏

17:30~  
**交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~10:30  
講義 **誰もが誰かの応援者～「地域」で応援し合うために～**

社会福祉法人わたむきの里福祉会 理事/

東近江圏域働き・暮らし応援センターTekito-(テキトー)前所長 野々村 光子 氏

10:50~12:20  
講義 **人と人、人と自然をつなぐ～地域内での資金循環の仕組みから～**

公益財団法人東近江三方よし基金 常務理事兼事務局長 山口 美知子 氏

12:20~12:30  
閉講・事務連絡

令和7年

1月  
21日(火)

## 講師紹介

### 東京藝術大学 学長 日比野 克彦(ひびの かつひこ) 氏

1958年岐阜県生まれ。東京藝術大学に在学していた80年代前半より作家活動を開始し、社会メディアとアート活動を融合する表現領域の拡大に大きな注目が集まる。その後はシドニー・ビエンナーレ、ヴェネチア・ビエンナーレにも参加するなど、国内外で個展・グループ展、領域を横断する多彩な活動を展開。また地域の場の特性を生かしたワークショップ、アートプロジェクトを継続的に発信。現在、岐阜県美術館、熊本市現代美術館にて館長、母校である東京藝術大学にて1995年から教育研究活動、2022年から学長を務め、芸術未来研究場を立ち上げ、現代に於けるアートの更なる可能性を追求し、企業、自治体との連携なども積極的に行い、「アートは生きる力」を研究、実践し続けている。

### 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授/認知症未来共創ハブ 代表 堀田 聡子(ほった さとこ) 氏

東京大学社会科学研究所特任准教授、コトレヒト大学客員教授等を経て現職。博士(国際公共政策)。2018年に「認知症未来共創ハブ」を立ち上げ、認知症のある方の想いや体験、知恵を起点に、本人とさまざまな関係者との協働を重ねる。監修に「認知症世界の歩き方」(2021年/ライツ社)、監訳に「コンパッション都市」(2022年/慶應義塾大学出版会)など。厚生労働省社会保障審議会・介護給付費分科会委員、内閣府認知症施策推進関係者会議委員、人とまちづくり研究所代表理事など。

### 社会福祉法人わたむきの里福祉会 理事/

### 東近江圏域働き・暮らし応援センター Tekito-(テキトー) 前所長 野々村 光子(ののむら みつこ) 氏

精神保健福祉士。幼い頃から障害がある人が自宅を出入りするという環境で育つ。大学卒業後、作業所、行政職を経て、2006年、一人ひとりの「適当」を大切に、すべての人がその人らしく働き・暮らせることを大切にする、働き・暮らし応援センター「Tekito-(テキトー)」を立ち上げる。2014年度ふるさとづくり対象個人表彰(総務大臣賞)を受賞。著書に、雑誌の人気連載が書籍となったエッセー集『しんどいから おもしろいねん』(2024年/コトノネ生活)がある。

### 公益財団法人東近江三方よし基金 常務理事兼事務局長

### 山口 美知子(やまぐち みちこ) 氏

滋賀県生まれ。東京農工大学大学院修了。1998年に林業技師として滋賀県入庁。林業事務所、琵琶湖環境政策室などを経て、2012年東近江市職員となり、公益財団法人東近江三方よし基金の創設に関与。2019年から同法人の常務理事に就任。2021年3月に市役所を退職。一般社団法人kikito、NPO法人まちづくりネット東近江等の活動に参加。

#### ■公益財団法人東近江三方よし基金■

地域内での資金循環の仕組みを作るための「市民コミュニティ財団」として設立。地域からの寄附、休眠預金を活用した助成事業、ソーシャルインパクトボンド(SIB)を活用した資金支援を通じて東近江市における社会課題解決の事業者を支援している。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

## JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。